

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年12月22日 (2011.12.22)

【公表番号】特表2011-503039(P2011-503039A)

【公表日】平成23年1月27日 (2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-532625(P2010-532625)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 37/66 G

A 6 1 K 37/66 H

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 37/04

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月31日 (2011.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

少なくとも一種の 4 - 1 B B レセプターアゴニストリガンドまたはその機能的に等価な変異体と、少なくとも一種の I 型インターフェロンまたはその機能的に等価な変異体とを含んでなる、組成物。

【請求項 2】

一つまたはいくつかの容器に、

(i) 少なくとも一種の 4 - 1 B B レセプターアゴニストリガンドまたはその機能的に等価な変異体の薬学的に許容される製剤と、

(ii) 少なくとも一種の I 型インターフェロンまたはその機能的に等価な変異体の薬学的に許容される製剤と、そして任意に

(iii) 少なくとも一種の化学療法化合物の薬学的に許容される製剤とを含んでなる、キット。

【請求項 3】

(i) 4 - 1 B B レセプターアゴニストリガンドまたはその機能的に等価な変異体をコードするヌクレオチド配列と、

(ii) I 型インターフェロンまたはその機能的に等価な変異体をコードするヌクレオチド配列とを含んでなるポリヌクレオチドであって、

前記双方の配列がともに発現調節配列に先行されてなる、ポリヌクレオチド。

【請求項 4】

前記 4 - 1 B B レセプターアゴニストリガンドが、前記 4 - 1 B B レセプターの天然リガンドまたはアゴニスト抗 4 - 1 B B レセプター抗体である、請求項 1 に記載の組成物、請求項 2 に記載のキット、または請求項 3 に記載のポリヌクレオチド。

【請求項 5】

前記アゴニスト抗 4 - 1 B B レセプター抗体が、I g G - 2 A 型免疫グロブリンである、請求項 4 に記載の組成物、キットまたはポリヌクレオチド。

【請求項 6】

前記アゴニスト抗 4 - 1 B B レセプター抗体がヒト化抗体である、請求項 4 または 5 に記載の組成物、キットまたはポリヌクレオチド。

【請求項 7】

前記 I 型インターフェロンが、インターフェロンアルファおよびインターフェロンベータからなる群から選択されるものである、請求項 1、4 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物、請求項 2、4 ~ 6 のいずれか一項に記載のキットまたは請求項 3 ~ 6 のいずれか一項に記載のポリヌクレオチド。

【請求項 8】

前記 I 型インターフェロンが、I F N - 2 a、I F N - 2 b、I F N - 4、I F N - 5、I F N - 8 およびそれらの組み合わせの群から選択されるインターフェロンアルファである、請求項 7 に記載の組成物、キットまたはポリヌクレオチド。

【請求項 9】

前記 I 型インターフェロンがペグインターフェロンである、請求項 7 または 8 に記載の組成物、キットまたはポリヌクレオチド。

【請求項 10】

請求項 3 ~ 9 のいずれか一項に記載のポリヌクレオチドを含んでなる、ベクター。

【請求項 11】

請求項 10 に記載のベクターを含んでなる、細胞。

【請求項 12】

癌の治療または予防用薬剤の調製に用いられる請求項 1、4 ~ 9 のいずれか一項に記載の組成物、請求項 2、4 ~ 9 のいずれか一項に記載のキット、請求項 3 ~ 9 のいずれか一

項に記載のポリヌクレオチド、請求項 10 に記載のベクター、または請求項 11 に記載の細胞。

【請求項 13】

前記癌が、固形腫瘍である、請求項 12 に記載の組成物、キット、またはポリヌクレオチド。

【請求項 14】

前記癌が、結腸癌である、請求項 13 に記載の組成物、キット、またはポリヌクレオチド。

【請求項 15】

前記キットの異なる成分が別個の投与に適したものである、請求項 12 ~ 14 のいずれか一項に記載のキット。

【請求項 16】

前記 4 - 1BB レセプターアゴニストリガンドが全身投与に適したものである、請求項 15 に記載のキット。

【請求項 17】

前記 I 型インターフェロンが腫瘍内投与に適したものである、請求項 15 または 16 に記載のキット。

【請求項 18】

請求項 1、4 ~ 9 のいずれか一項に記載の組成物、請求項 3 ~ 9 のいずれか一項に記載のポリヌクレオチド、請求項 10 に記載のベクターまたは請求項 11 に記載の細胞および薬学的に許容される担体を含んでなる、医薬製剤。

【請求項 19】

癌の治療または予防のための、請求項 18 に記載の医薬製剤。